

ふくい型健康づくり推進プロジェクト

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	山田 清智			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R元 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営、補助													
補助率	1/2、10/10													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [安心を高める(地域力)] 政策 [人生100年時代の健康ライフスタイル]				関連する県の計画等		[元気な福井の健康づくり応援計画]							
[事業目的]														
食生活や運動習慣の改善、健診受診などに県民が自然に取り組める環境を整備し、働き世代の健康づくりを強化するとともに、市町における健康づくり活動の定着を支援することにより、県全体の健康レベルを向上させ、医療界、経済界、保険者、行政等が協力し健康寿命の更なる延伸を目指す。														
[事業内容]														
(1) 職域における健康づくりの拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康づくりに積極的に取り組む事業所を認定 ・ 地域住民(食生活改善推進員)と協力して、減塩などの食生活改善を推進 (2) 地域における健康づくりの定着促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康無(低)関心層の健康づくり推進を目指してインセンティブ事業を全県に拡大 ・ 地域の草の根的活動を担う「わがまち健康推進員リーダー」への研修会を実施し、効果的な活動ができる人材を育成 ・ ショッピングセンターウオーキングの実施店舗増加により主婦や高齢者等の歩く機会の創出をさらに推進 ・ 本県の食文化を活かした健康長寿食「ふくい100彩ごはん」を開発し、県内外に発信 (3) 健康リテラシー教育の実践 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民が100歳まで健康に生きるための「ふくい型健康リテラシープログラム」の開発に向けた有識者による検討会議を設置 														
[受益者] 県民						[想定される受益者数]								
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況		市町は、多数の住民参加を促すインセンティブ事業や食と運動の一体的な取組みを促進し、一市町一健康づくりの定着促進						
[事業の評価]														
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康づくり実践事業所の認定(53事業所) ・ エルパによるショッピングセンターウオーキングの開催(1月3日キックオフイベントの実施) 						<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康長寿食「ふくい100彩ごはん」の開発 ・ ふくい型健康リテラシープログラム策定に向けた事前調査の実施 								

ふくい型健康づくり推進プロジェクト

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	山田 清智	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R元 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	1/2、10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	14,441	689			13,752	感染症予防事業費等国庫補助金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点							
当初予算額の推移			11,555	14,441	<ul style="list-style-type: none"> ・健康長寿食「ふくい100彩ごはん」の開発 ・ふくい型健康リテラシープログラム策定に向けた事前調査の実施 							
2月現計予算額の推移			8,074									
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	生活習慣病による死亡数 (人口10万人あたり)	(目標)	(179.1)	(175.8)	(172.4)	(169.1)	185.8 (H29) から年間1.8%減 ※H24-H29減少率 (9.2%) より算出					
活動指標	健康づくり実践事業所の 認定件数	(目標)	(30)	(30)	(30)	(30)	協会けんぽが実施している健康づくり宣言事業所 (約300事業所) の1割を認定					
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				

後期高齢者保健事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	山田 清智			
事業主体	福井県後期高齢者医療広域連合				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H20 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2 年度
事業実施方法	補助													
補助率	国庫補助の1/3または1/4													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [安心を高める(地域力)] 政策 [人生100年時代の健康ライフスタイル]				関連する県の計画等		[第3次福井県医療費適正化計画]							
[事業目的]														
後期高齢者の保険者である広域連合が実施する保健事業に対し支援することで、後期高齢者の健康を増進し、健康長寿につなげる。														
[事業内容]														
後期高齢者医療被保険者を対象として、福井県後期高齢者医療広域連合が実施する健康診査・歯科健康診査および重複・頻回受診者への訪問指導に係る費用の一部を補助する。														
1 健康診査														
①補助対象者 県内後期高齢者医療被保険者のうち、生活習慣病により治療中の者、日常的な医師の医学的管理を受けている者(施設入居者および長期入院者)を除いた者														
②補助内容 事業にかかる経費のうち、健診受診者数×補助単価(39,560千円)														
③補助率 国が定める補助単価の3分の1(国1/3、県1/3)														
2 歯科健康診査														
①補助対象者 県内後期高齢者医療被保険者のうち、日常的な医師の医学的管理を受けている者を除いた者														
②補助内容 事業にかかる経費のうち、歯科健診受診者数×補助単価(1,990千円)														
③補助率 国が定める補助単価の3分の1(国1/3、県1/3)														
3 重複・頻回受診者等への訪問指導事業														
①補助対象者 県内後期高齢者医療被保険者のうち、レセプト等から選定された重複・頻回受診者等														
②補助内容 事業にかかる経費のうち、訪問指導実施延べ人数×広域連合契約単価見込(1,110千円)														
③補助率 総事業費の4分の1(国1/2、県1/4)														
[受益者] 県内の後期高齢者医療保険者						[想定される受益者数] 約20,000人								
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況		保健事業の実施主体は、保険者である広域連合であるが、広域連合の体制では事業の実施は困難なため、各市町が実施する事業に対して補助を行っている。 県内のどの医療機関でも健診を受診できる体制の整備を支援している。 市町で実施する高齢者向けのイベント等で、健診の普及啓発活動を行っている。						
[事業の評価]														
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点								
健診受診率について、30年度においては、前年度より約1%上昇したが、第3次医療費適正化計画に定める目標値(受診率70%)と実績値(44%)は乖離している状況						・国の制度変更を受け、重複・頻回受診者の訪問指導事業への補助率を総事業費の4分の1に変更								

後期高齢者保健事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	山田 清智	
事業主体	福井県後期高齢者医療広域連合				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H20 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2 年度
事業実施方法	補助											
補助率	国庫補助の1/3または1/4											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	42,660			繰入 11,660	31,000	高齢者保健福祉基金 11,628千円 地域医療介護総合確保基金(医療分) 32千円						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点							
当初予算額の推移		40,203	42,986	42,660	・国の制度変更を受け、重複・頻回受診者の訪問指導事業への補助率を総事業費の4分の1に変更							
2月現計予算額の推移		37,355										
決算額の推移		36,646										
前年度までの 主な増減理由	・健診受診者数増による、補助額の増											
[成果指標等の推移]												
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	1人当たり後期高齢者医療費 (目標) 実績						当該年度の医療費÷当該年度の平均被保険者数 (厚労省発行「後期高齢者医療事業年報」)					
活動指標	後期高齢者健診受診率(%) (目標) 実績	(70.0) (44.4)	(70.0)	(70.0)	(70.0)	(70.0)	第3次医療費適正化計画期間中(平成30~令和5年度)に定める目標値70%の達成 健診受診率=後期高齢者の健康診査受診者数÷健診受診対象者数×100					
他県の状況	○健診事業に対する補助実施都府県…7都県 東京都、富山県、石川県、山梨県、奈良県、鳥取県、岡山県 ○歯科健診事業に対する補助実施県…5県 富山県、山梨県、奈良県、鳥取県、岡山県					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				

マイナス1歳からの歯の健康プロジェクト

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	山田 清智								
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度							
事業実施方法	直営、委託																		
補助率	—																		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [安心を高める(地域力)] 政策 [人生100年時代の健康ライフスタイル]				関連する県の計画等		[第4次元気な福井の健康づくり応援計画]												
[事業目的]																			
より早期からのむし歯予防対策として、妊産婦の無料歯科健診を実施し、乳幼児のむし歯予防対策についての啓発を行う。また、幼児期以降のむし歯予防対策として、フッ化物洗口や歯みがき習慣の定着を図る。																			
[事業内容]																			
<p>(1) 「フッ化物洗口」実施</p> <p>① 保育所、幼稚園等未就学児施設におけるフッ化物洗口の拡大(A)</p> <p>② フッ化物洗口の実施が困難な施設では、園児と保護者を対象とした親子歯みがき教室の開催(B) 目標：(A)+(B)=100%</p> <p>③ 4、5歳児むし歯有病率調査 公的な統計のない4、5歳児のむし歯有病率を県独自に調査し、フッ化物洗口の効果について評価する。</p> <p>(2) マイナス1歳からのむし歯予防事業</p> <p>① 妊産婦無料歯科健診の実施 目標：受診率30%</p> <p>② 母子手帳に、妊産婦歯科健診の受診券を追加</p>																			
[受益者] 4歳～小学生以下の子ども、妊産婦						[想定される受益者数] 約12,000人													
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「8020運動」推進事業、子どもの歯の健康プロジェクト事業 (実績) 妊産婦歯科健診受診率 18.8% (1,094人) フッ化物洗口施設実施率 45.4% (152施設)					市町との連携状況		母子手帳交付時に妊産婦無料歯科健診のチラシを配布 市町児童福祉主管課を通じてフッ化物洗口の実施を呼びかけ										
[事業の評価]																			
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点													
むし歯有病者率は、小学生・中学生が減少 3歳児 H28 16.4%(19位)→H29 17.1%(28位) (+0.7%) 小学生 H29 56.8%(40位)→H30 54.2%(39位) (-2.6%) 中学生 H29 46.6%(42位)→H30 46.2%(45位) (-0.4%)						未実施施設への歯科医師派遣により、積極的な勧奨を実施													

マイナス1歳からの歯の健康プロジェクト

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	山田 清智			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営、委託													
補助率	-													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	8,841	1,068			7,773	医療施設運営費等補助金								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移		9,760	9,494	8,841	未実施施設への歯科医師派遣により、積極的な勧奨を実施									
2月現計予算額の推移		9,760												
決算額の推移		9,358												
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	小学生のむし歯有病率(%) (目標) 実績	— 54.2												
活動指標	フッ化物洗口施設実施率 (%) (目標) 実績	(47.7) 45.4	(51.2)	(54.3)	(59.0)	(62.7)								
他県の状況	[H30 むし歯のある小学生の割合(%)] 全国：45.3				関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)							

全国歯科保健大会開催事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	山田 清智		
事業主体			厚生労働省、福井県、福井市、日本歯科医師会、福井県歯科医師会		事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2 年度	
事業実施方法		直営、負担金								事業経過年数			1 年
補助率		-											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野	[安心を高める(地域力)]		関連する県の計画等		[第4次元気な福井の健康づくり応援計画]						
<p>[事業目的]</p> <p>県内の歯科保健担当者のみならず、県民への歯科保健に対する関心をより向上させ、8020運動を推進する。また、歯科保健事業の推進及び歯科保健衛生の普及向上に、多大な功績があった個人または団体を表彰し歯科保健事業の一層の推進を図る。また、全国歯科保健大会の開催とあわせて研修会を開催し、歯科保健関係者の歯科口腔保健の向上に必要な知識等の普及を図る。</p>													
<p>[事業内容]</p> <p>(1) 第41回全国歯科保健大会 ・実施主体：厚生労働省、福井県、福井市、日本歯科医師会、福井県歯科医師会 ・日時：令和2年11月14日(土) 12:30~16:30 ・場所：フェニックス・プラザ(1500人程度収容の会場) ・内容：○表彰式(歯科保健事業功労者表彰、親と子のよい歯のコンクール表彰等) ○特別講演(安藤和津氏)</p> <p>(2) 第28回全国歯科保健推進研修会 ・実施主体：厚生労働省、福井県、福井県歯科医師会 ・日時：令和2年11月13日(金) 13:30~16:40 ・場所：100人程度収容の会議室 ・内容：県外及び県内有識者による講演</p>													
[受益者] 全国歯科保健事業関係者、受賞者、一般県民等						[想定される受益者数] 1600人							
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況							
[事業の評価]													
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点							

全国歯科保健大会開催事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	山田 清智					
事業主体	厚生労働省、福井県、福井市、日本歯科医師会、福井県歯科医師会				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2 年度		
事業実施方法	直営、負担金					□ 法定受託事務			□ 補助金						■ その他	
補助率	-															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	3,149				3,149											
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点											
当初予算額の推移				3,149												
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	全国歯科保健大会・全国 歯科保健推進研修会参加 人数	(目標) 実績		(1,600)												
活動指標	全国歯科保健大会・全国 歯科保健推進研修会の開 催	(目標) 実績		(2)												
他県の状況					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)									